

ごみ(資源ごみ)収集運搬業務の委託状況

【平成24年度】

委託業務の名称	契約の相手方の称号 又は名称及び住所	H24年度契約金額 (税込)	契約を締結した日	随意契約によることとした理由	根拠法令
資源ごみ(ガラス瓶)の収集 および運搬業務委託	J社	委託台数 塵芥収集車 2台×****円/月・台×12カ月 パワーゲート車1台×****円/月・台×12カ月	単年度契約のため、 毎年度4月1日	資源ごみ収集運搬業務については、 『下水道の整備等に伴う一般廃棄物処 理業等の合理化に関する特別措置法』 に基づき、平成14年度に合理化事業計 画を策定し、『し尿等収集運搬業者等 の転廃業助成に関する協定書』により 業務委託を締結している。 合理化事業計画の代替業務提供期 間は、10年間であり、契約日から10年 間は合理化事業計画に基づく、随意契 約である。	下水道の整備等に伴う一 般廃棄物処理業等の合理 化に関する特別措置法(昭 和50年5月23日法律第31 号)
資源ごみ(新聞紙・使用済 み乾電池・ライター・発泡ス チロール・紙パック)の収集 および運搬業務委託	E社	委託台数 塵芥収集車 1台×****円/月・台×12カ月 パワーゲート車3台×****円/月・台×12カ月	単年度契約のため、 毎年度4月1日	しかしながら、資源ごみ収集運搬業務 については、合理化事業計画の実施期 間の10年を経過しても、援助額に達し ない状況であり、長浜市議会から、合理 化事業計画における残支援業務につ いては、適切な執行を図るよう指摘され ている。	
資源ごみ(空き缶・ペットボト ル)の収集および運搬業務 委託	N社	委託台数 塵芥収集車 2台×****円/月・台×12カ月	単年度契約のため、 毎年度4月1日	11年目以降、代替業務の援助総額が 達しない場合、民法第1条第2項による 信義則の原則により、援助総額に達す るまでは、業務委託を継続していく必要 がある。	
資源ごみ(古布・雑誌・チラ シ・段ボール)の収集および 運搬業務委託	O社	委託台数 塵芥収集車 3台×****円/月・台×12カ月	単年度契約のため、 毎年度4月1日		